

平成28年度一般財団法人都城圏域地場産業振興センター事業報告

(1) 会議

期 日	内 容
平成28年 4月 8日	宮崎県「道の駅」向上会議監査
4月20日	宮崎県「道の駅」向上会議
4月25日	都城物産振興協会役員会
5月18日	平成27年度決算の監査実施
5月25日	第1回理事会（平成27年度収支決算の承認他）
5月26日	都城物産振興協会通常総会
6月 6日	全国地場産業センター協議会幹事会（愛知県一宮市）
6月22日	第1回評議員会（評議員・理事の選任他）
7月 7日	全国地場産業センター協議会（愛知県一宮市）
9月29日	宮崎県道の駅向上会議（宮崎市）
9月29日	宮崎県道の駅市町村担当者会議（宮崎市）
11月 4日	宮崎県道の駅向上会議（宮崎市）
11月29日	都城物産振興協会役員会
12月 6日	九州沖縄駅長会議（佐賀県）
平成29年 2月 6日	宮崎県「道の駅」駅長会（宮崎市）
3月 3日	九州地場産業センター協議会（熊本市）
3月 3日	第2回理事会（平成29年度事業計画、収支予算他）
3月 8日	全国地場産業センター幹事会（東京都）

(2) その他

期 日	内 容
平成28年 4月28日	はばたけ都城六次産業化推進協議会担当者会議
5月19日	J A F 宮崎支部感謝の会 (宮崎市)
5月25日	都城小売酒販組合通常総会
5月28日	都城弓製造業協同組合通常総会
6月 3日	都城法人会定時総会
6月 6日	宮崎県貿易振興センター通常総会 (宮崎市)
6月 8日	飲食業組合通常総会
6月23日	都城圏域産学官交流会
6月24日	都城観光協会通常総会
7月 7日	宮崎県工業会西地区部会総会
8月 1日	マスコミとの交流会 (都城物産振興協会)
11月22日	永年勤続従業員表彰
平成29年 1月18日	6次産業化新商品発表会
2月15日	都城市産業活性化講演会・交流会
3月24日	ふるさと納税協議会総会

(3) 事 業

【地場産業後継者育成事業】

■地場産業研修・交流会

農商工のそれぞれが有する経営資源を使って、連携の強化及び商品開発等の相乗効果を得る取り組みを講演会や交流会を通しておこなった。講演会では、地域資源を活用した成功例をもとに、マーケティング、プランニング、コンセプトを学び、新商品の開発のヒントにすることができた。

○実施内容（演題）：「四万十のあしもとにあるもの」

～地域の元気づくりは、地域資源の活用から～

- ・日時／平成29年1月26日（木）
- ・会場／ホテル中山荘
- ・研修形式／講演会、情報交換会の2部構成
- ・講師／株式会社四万十ドラマ 代表取締役 畦地 履正氏
- ・参加者／84名（うち六次産業化企業17名）

【地場産品需要促進事業】

■地場産品販路開拓促進事業

全国市場に新規性の高い商品を売り込んでいくため、多様化する消費者ニーズの把握や市場の変化に対応できるための情報収集を行った。

また、東京、大阪、福岡で活動する宮崎県人会、都城圏域同郷人会において、特産品販売やPRを積極的に実施した。

① 「宮崎うまいものフェア」物産展

日時：平成28年4月14日（木）～4月15日（金） 場所：福岡県北九州市

② 東海都城三股会総会・懇親会

日時：平成28年5月29日（日） 場所：愛知県名古屋市

③ 福岡みやざき応援団5周年パーティー

日時：平成28年7月6日（水） 場所：福岡県福岡市

④ FC東京みやこんじょ物産展

日時：平成28年9月10日（土） 場所：東京都調布市

⑤ 第89回近畿高千穂会

日時：平成28年10月16日（日） 場所：大阪府大阪市

⑥ 第50回在福宮崎県人祭物産展

日時：平成28年10月28日（金） 場所：福岡県福岡市

■第34回地場産業まつり開催事業

都城圏域の代表的な地場産品・農産物・商工業製品を一堂に展示紹介し、「地場産品の再認識の機会のある場」「地域間・企業間の相互交流の場」として、地場産業の振興と地域の活性化に取り組んだ。「第3回匠のこころ in 都城～手作り工芸品展～」と同時開催したことで、会場をステージイベント及び出展小間すべて屋外会場での開催となったが、工芸品展との導線をうまく活用したことで効果的な集客を図ることができた。

・会期／平成28年10月29日（土）・30日（日） 2日間

- ・会場／地場産業センター屋外展示場
- ・出展社／54社（都城圏域：35社 圏域外：19社）
- ・出展社売上／5,825,340円
- ・来場者／15,000人（29日：5,000人 30日：10,000人）

■食材試食商談会事業

福岡県在住の宮崎県出身者を含めた飲食店経営者との商談及び交流会を開催することで、農畜産物を含む都城地場産品の利用促進や、地域資源を生かして開発した商品等の販路拡大を図った。出展企業が提案食材を使った料理を囲みながら商品提案することで、商談を円滑にすすめることができた。また、情報交換会では、商品開発の意見交換等で来場者と出展企業の交流を図ることができた。

商談会終了後、一般消費者を対象に、提案食材を使った料理を囲みながらPRを図る「都城ナイト」を実施した。

京北スーパーバイヤーツアーについては、都城圏域の企業や生産現場へ案内し、商談を含めた視察を行った。視察受入れ企業や生産者は、積極的な自社商品のPRを行った。

都城産食材のPRを図るために、都城産農畜産物や加工品を食材として使用したメニューを一定期間提供する「都城フェア」を2店舗で開催した。また、メディア関係者向けに試食会を開催し、テレビ局、新聞社、大手出版社などにメニューが取り上げられ、PRに繋がった。さらに、フェアと同時にスーパー8店舗において、一般消費者向けに試食販売を行い、好評を得ることができた。

○食材試食商談会

- ・会期／平成28年9月25日（日）
- ・会場／ダブルスロータスガーデン蓮双庭（福岡県福岡市）
- ・出展社／8社 来場者／41名（飲食業、食品メーカー、マスコミ他）
- ・提案食材／椎茸、みやざき地頭鶏、ブランド豚、焼酎等
- ・成約件数／6件

○都城ナイト

- ・会期／平成28年9月25日（日）
- ・会場／コマツ プルミエ店（福岡県福岡市）
- ・出展社／7社 来場者／40名（一般消費者）
- ・提案食材／椎茸、みやざき地頭鶏、ブランド豚等

○京北スーパーバイヤーツアー

- ・会期／平成29年1月11日（水）・12日（木）
- ・視察場所／都城圏域農畜産加工企業及び農業生産者 20社
- ・ツアー参加者／6名

- ・提案食材／焼酎、ワイン、黒豚、椎茸、菊芋等
- 「都城フェア」プレスリリース
 - ・会期／平成29年2月17日（金）
 - ・会場／イタリア料理「Modern Times」（千葉県）
 - ・使用食材／都城牛（サーロイン・ヒレ）、観音池ポーク（ロース・バラ）
みやざき地頭鶏他
 - ・主な来場メディア／テレビ局、ラジオ局、新聞社、大手雑誌出版社他
- 都城フェア
 - ・会期／平成29年3月1日（水）～3月14日（火）2週間開催
 - ・会場／イタリア料理「Modern Times」「モンテローザ」（千葉県）
 - ・使用食材／都城牛（サーロイン・ヒレ）、観音池ポーク（ロース・バラ）、豚足
みやざき地頭鶏等
- 都城フェア（※一般消費者向けに試食販売）
 - ・会期／平成29年3月1日（水）～3月14日（火）2週間開催
 - ・会場／京北スーパー8店舗（千葉県）
 - ・販売商品アイテム／30品目
 - ・主な商品／都城和牛、みやざき地頭鶏、焼酎、らっきょう等
 - ・売上額／6,102千円

【地場産業総合振興事業】

■九州食の展示商談会 in 福岡

九州地域の産業の強みである農林水産業を活かし、六次産業化の推進や農商工連携の強化を図るとともに、九州の食品の販路拡大を目的として開催する商談会である。今回は、昨年4月に起きた熊本地震により会場を熊本から福岡に移して開催された。一般商談はもとより、予約商談会や九州食品輸出商談会、相談コーナーなど多岐にわたる商談会等に参加することで、販路開拓、販路拡大に繋がる商談を進めることができた。

- ・会期／平成29年1月18日（水）・19日（木） 2日間
- ・会場／福岡国際センター（福岡県福岡市）
- ・来場者／2,700名
- ・出展社数／9社（6次産業化企業：3社）
- ・商談成約件数／9件（6次産業化企業：3件）※商談継続件数は含まない。
- ・主な成約商品／焼酎、ジビエロースト、みやざき地頭鶏、タルタルソース等

■こだわり食品フェア2017

全国各地の個性豊かな地域食品をはじめ、素材、製法にこだわる食品が一堂に集まるバイヤーを対象にした商談会である。地域にこだわった食材、商品を求めている食品スーパー、百貨店のバイヤー等と商談を行い、販路を開拓していくと同時に、首都圏における商品動向や消費者ニーズについて情報収集を行った。

- ・会期／平成29年2月15日（水）～2月17日（金） 3日間
- ・会場／東京ビッグサイト（東京都）
- ・来場者／86,768名
- ・出展社数／3社
- ・商談成約件数／5社（6次産業化企業：1件）※商談継続件数は含まない。
- ・主な成約商品／椎茸、生ハム等

■第9回国際PB・OEM開発展2017

高付加価値商品を中心に、共同開発パートナーを探している小売り、ホテル、外食産業等の企業とマッチングを行う場である「第8回国際PB・OEM開発展2017」は、大手企業からの受託事業を受けて規模拡大を図ることを目標に、新商品や主力商品を中心に商談を進め、多数の企業と手応えのある商談をすることができた。

- ・会期／平成29年2月21日（火）～2月24日（金） 4日間
- ・会場／東京ビッグサイト（東京都）
- ・来場者／56,367名
- ・出展社数／3社
- ・商談成約件数／7件 ※商談継続件数は含まない。
- ・主な成約商品／鶏皮唐揚、豚ハラミ等

【単独事業】

■ものづくり体験教室

都城圏域（43校）の小学校に案内チラシを配布し参加を呼び掛けたところ、390組の参加があった。土のぬくもりを感じながら陶器を作る楽しさや、お菓子や味噌をつくる喜びなど、親子で体験学習をしながら地場産業の理解を深め、親子で協力して1つの物をつくる共同作業の場として提供した。今回は、宮崎県立都城工業高等学校によるプチロボ教室（高学年向け）、木工教室（低学年向け）を開催したが、とても好評であった。

参加者が最も多い陶芸教室においては、地場カップデザインコンテストを開催し、作品約260点のなかから優秀賞などを選び、表彰式を行った。

○ものづくり体験教室

- ・会期／平成28年7月27日（水）～7月29日（金） 3日間
- ・会場／都城圏域地場産業振興センター
- ・参加数／390組（約800名）参加料／470,000円
- ・内容／みそ作り教室（96組）、お菓子作り教室（53組）
 プチロボ教室（19組）、木工教室（96組）、陶芸教室（126組）

○地場カップデザインコンテスト（表彰式）

- ・会期／平成28年9月24日（土）
- ・会場／都城圏域地場産業振興センター
- ・入賞者／20名（特賞3名） 入賞作品／カップ、皿、茶碗、ペン立て等

■物産 PR 事業

催し名	期 日	会 場	売上額
枕崎かつおまつり	5月 4日～ 5日	鹿児島県枕崎市	210千円
天王グリーンランドまつり	8月27日～28日	秋田県潟上市	600千円

■工芸品展示会出展支援事業（第3回匠のこころ in 都城～手作り工芸品展～）

工芸品の普及啓発や潜在的需要の喚起を促す目的として、地場産業まつり開催時に「第3回匠のこころ in 都城～手作り工芸品展～」を開催した。職人が作り上げた匠の技による素晴らしい工芸品の展示販売及び実演を行うほか、出展窯元のカップを使ったカフェなどのイベントもおこなった。出展者募集から設営まで実行委員会が主体となって取り組んだことで、手作り感のあるフェアになり販路拡大に繋がった。

- ・会期／平成28年10月29日（土）～10日30日（日）
- ・会場／地場産業センター全展示場（地場産業まつりと同時開催）
- ・出展者数／50社 実行委員数／11社（行政・事務局含む）
- ・主な出展アイテム／家具、陶器、木工品、包丁、ハンドメイド等
- ・売上／1,959,480円

■物産展の開催、その他の展示即売

催し名	期 日	会 場
one+nation 物産展	6月30日	都城市
FREEDAM 宮崎物産展	9月 3日	宮崎市
FC 東京ホーム試合物産展	9月10日	東京都
九州PTA大会物産展	10月29日	都城市
防府じばさんフェア（委託販売）	11月12日～13日	山口県
備後地域全国物産展（委託販売）	11月19日～20日	広島県

■視察・研修受入れ

団 体 名		期 日	参加人数
視察	職業訓練校職場視察	4月12日	10名
視察	北海道深川市北空知信用金庫視察	5月30日	6名
研修	職場体験学習（都城西中学校）	6月30日～ 7月 1日	2名
研修	職場体験学習（長崎県立大学）	9月21日～10月 5日	1名
研修	インターンシップ（職業訓練校）	10月24日～11月21日	2名
研修	職場体験学習（都城沖水小学校）	11月22日	36名
研修	職場体験学習（宮崎大学）	11月25日	20名
視察	秋田県潟上市中学生交流団	1月13日	15名
視察	職業訓練校職場視察	1月20日	10名
視察	職業訓練校職場視察	3月 3日	10名

【「道の駅」都城】

■物産館の状況

○年間来店者：209,338名（前年対比：103%）

※レジ通過者：95,670人（前年対比：105%）

※客 単 価：1,475円（前年対比：100.8%）

○物産館販売額：141,071,415円（前年対比：106%）

■旬の季節商品の充実

野菜は品揃えを豊富に、旬の果物は地元産を中心に商品の充実を図ったことで、客数、売上の増加につながり、地域の常連客を増やすことができた。

○前年（平成27年度）対比の実績

きんかん147%、いちご140%、ぶどう137%、野菜全般110%

■顧客の固定化（会員の増加）

感謝祭やイベント等の際に、会員加入の積極的な声掛けを行ったことで、「道の駅」都城ポイントカードの発行が前年度より3割増加しており、リピーターの確保と会員の増加によるファンの拡大を図れたとともに、売上向上に繋げることができた。

■道の駅休憩施設の充実

都城工業高等学校インテリア科の高校生が、「産業振興」と「観光」をテーマに、机・いすのセットを製作し、道の駅のオープンテラスに設置した。地域はもとより、多くの観光

客から親しまれる休憩施設の充実を図ることで、店舗環境の向上に努めた。

■新規出展者及びアイテムの拡充

新規出店者（10社）を増やすことで、品揃えの強化を図った。既存出展者も積極的に新商品の販売を行うことで、商品の選択肢も増えた。

■ネット販売促進事業（よかもん屋都城）

フェイスブックなどのSNSを積極的に活用することで、集客力アップと会員増につながった。また、定期的にサイトの案内や、おすすめ商品や季節の商品等の紹介を掲載することで、リピーターの増加と顧客の囲い込みに繋げることができた。

- ・実施期間／平成28年4月1日～平成29年3月31日
- ・アクセス数／114,147PV（前年対比：132%）
- ・会員数／354人（前年対比：162%）
- ・売上額／1,785,923円（前年対比：101%）
- ・取扱アイテム数／251品 出展社数／64社
- ・主な売れ筋商品／喜スパイス、味噌、郷土菓子、和牛肩ロースしゃぶしゃぶ等

■外商

行政、企業等の企画担当者に、積極的に地場産品の愛用を図るよう働きかけを実施した。今年度より、ふるさと納税の返礼品（骨付きハム、都城茶、ワイン、焼酎）の取扱いも行った。

- ・売上／9,972,205円

主な注文：ふるさと納税（114セット）、金婚式（400セット）等

■道の駅感謝祭の実施

催し名	期 日	期間売上額
冬の感謝祭	12月10日～11日	2,688千円
春の感謝祭	3月11日～12日	2,725千円

■その他の事業

催し名	期 日	出展者数	出展内容
ジバ！サンバ（地場産業センター）	7月 2日	8社	都城牛串、かき氷他
道－1グランプリ（京都府丹後市）	9月24日・25日	1社	チキン南蛮スティック
旬のみやざき道の駅大集合（宮崎市）	11月19日・20日	2社	都城牛串、スペアリブ
都城市ふるさと納税感謝祭（東京都）	11月19日・20日	1社	骨付きハム

■研修による接客サービス強化

接客に従事するスタッフを中心に、適切な接客サービスを提供するにあたっての心構えや、基本的な知識、実践的な販売や接客におけるレベルアップを図った。また、検定試験等にも積極的に参加した。

○会議等視察研修

日時	人数	会議内容	場所
7月13日	3	AED講習会	都城市
11月22日	2	食の検定（3級試験）	宮崎市
平成29年 2月22日	2	食品表示法講習	都城市
2月22日	2	共同利用加工施設視察研修	都城市
3月13日・14日	2	四万十ドラマ（道の駅とおわ）視察研修	高知県

■物産交流

全国にある道の駅及び地場産業センター間で、その地域及び物産を紹介することや交流を図るため、相互で物産販売を実施した。また、この販売が商品アイテムの充実を図ることにも繋がり、常に変化を持たせることでリピーター客の増加に努めた。

○道の駅 香川県滝宮、秋田県潟上てんのう・潟上しょうわ、沖縄県許田
福岡県原鶴、宮崎県北川はゆま、兵庫県うずしお

○自治体 北海道深川市

○地場産業センター

（公財）南薩地域地場産業振興センター、（公財）久留米地域地場産業振興センター

（公財）日田・玖珠地域産業振興センター、（公財）桐生地域地場産業振興センター

（公財）山口・防府地域工芸地場産業振興センター

（一財）備後地域地場産業振興センター

【貸館の状況】

■貸館事業

展示場・会議室の貸館事業においては、宮崎市、鹿児島市を中心とした企業へ積極的な営業推進の取り組みや、利用者に対するフォローとして御礼状を送るなど会場利用の機会を促した。また、会場利用後に道の駅のコーヒーサービス券を配ることで、道の駅への導線を確認した。

会議室利用者においては、施設の快適な利用環境を確保するために、照明のLED化やホワイトボードの修繕などを実施することで、施設利用者の利便性、満足度の向上に努めた。

○展示場	使用延べ日数	177日 (前年対比: 127%)
	使用人数	47,220人 (前年対比: 112%)
	使用料	16,087,908円 (前年対比: 140%)
	稼働日数	大展示場 (798.6 m ²): 46日、中展示場 (570.6 m ²): 87日 小展示場 (347.6 m ²): 150日
○会議室	使用延べ日数	305日 (前年対比: 98%)
	使用人数	8,665人 (前年対比: 70%)
	使用料	3,385,120円 (前年対比: 96%)
	稼働日数	会議室 (定員 26名): 164日、技術研修室 (定員 54名): 226日 研修室 (定員 54名): 237日
	<u>総収入</u>	<u>19,473,028円</u> (前年対比: 130%)